



潮小応援だより

第02号

2024年12月9日

発行：芦屋市立潮見小学校

編集：芦屋市教育委員会

児童総数：564名 5月1日現在

— 学校運営協議会（学校関係者評価委員会） —

第2回学校運営協議会



学校運営協議会の様子

【2学期行事目白押し】

宿泊行事（4～6年）や校外学習などの体験を通して学べる学期だった。

音楽会を参観された委員の声

- ・大変感動しました。・優しい気持ちになりました。
- ・子どもの姿に元気をもらいました。
- ・6年生の成長に感動しました。

【普段の姿】

★潮見タイム（毎週水曜日 20分休み）1年生と潮見幼稚園児との交流。今後、2年生も交流を始める。

★学び合う子どもの姿や寄り添う様子

★2学期から自由登校。手に草花を持って登校。自然に触れる時間。登校も子どもにとっては学びの場。

★縦割り活動（ペア活動）

★12月の研究授業は、幼稚園と共同に研究していく。

11月27日（水）に令和6年度の第2回学校運営協議会が開催されました。校長より、2学期の子どもたちの様子を紹介した後、全国学力・学習状況調査による結果及び潮見小児童に育みたい力（姿）について協議されました。

潮小の児童に育みたい力（姿）とは

【潮見小学校の児童の目指したい姿】1学期の学校運営協議会より

通学路も
学びの場である

人間としての
土台・基礎体力を
つける

小学生の間は
遊べる時期

学校に
行くことが大切

学力

最低限の学力は
必要

委員の皆様よりこんな話ができました

居場所

子どもたちが何を言っても大丈夫だという環境をつくる。

実践するには失敗がつきもの。失敗を許容できる雰囲気づくり。ともに成長できる場にしていきたい。

6年生の学級会よりでは、「何のために」ということを問い返しながらか、話し合いができていた。

他学年・園児・児童が共に過ごす、地域が参加できる場所にしたい。

自己選択・自己決定

幼稚園や保育所は、非認知能力を身につける土台をつくる。また、自分で決めることが当たり前の環境。

小学校では管理的な時間が多くなる。小学校においても自己決定する機会をもっとつくっていきたい。例えば、縦割りの時間は大切である。もともと多様な文化である潮見小の強みを生かしていきたい。

自分の強みを生かす

児童質問紙の調査結果より、「自分には良いところがある。」と答えた児童が全国平均より高い。

小学校時代に好きなことに見つけてほしい。好きなことに向かいながら、様々な人と出会ってほしい。

学校、地域、家庭においても自分の強みを大事にしていきたい。

今後も、それぞれ評議員の立場から様々なご意見をいただきながら協議を進めていきます。